

【議会報告会】

別段の質疑、及び意見はなかった。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：シティプロモーションについて》

①観光施策・シティプロモーション全般について

○近年四日市港にクルーズ船が寄港するようになった。乗客に四日市の魅力を知ってもらうには工場見学が有効と考えており、シティプロモーション部にも提案したことがある。クルーズ船を活用した観光振興について考えていることはあるか。

⇒議員 本市の魅力をクルーズ船に訴えかけることは重要であり、特に四日市港に到着する前の港から本市の魅力をPRしておく必要があると感じている。今後、クルーズ船の受け入れは千歳地区に移ることから、長年の歴史で積み上げられた産業遺産等を乗客に向けた観光の魅力としてはどうかの思いがある。クルーズ船の観光振興への活用は議会としてもしっかり取り組むべき課題であるため、積極的にご意見をいただきたい。

○駅や空港にストリートピアノを置き、誰でも自由に弾けるようにしている事例がある。ピアノの音は人を惹きつけ、非常に効果的であると考えするため、例えば近鉄四日市駅の改札前への設置など、積極的に検討してほしいと考えるが、どうか。

⇒議員 ストリートピアノは全国的に広まりつつあり、著名なピアニストが自身の演奏姿を動画投稿している例も多くある。ピアノを設置するだけであればそれほど予算もかからず、本市にもあればよいと考える。シティプロモーションの観点からも非常に良いアイデアであると感じるため、ご意見として承る。

○市内には地域まちかど博物館が多くあり、水沢地区にも存在する。大勢での鑑賞にも耐える立派なものもあるが、基本的には個人管理である。防犯設備の導入に公費を投入するなど、市としても地域まちかど博物館の普及促進に力を入れてほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

③水沢地区の観光・シティプロモーションについて

○水沢のもみじ谷では、毎年 11 月末の日曜日にもみじ祭りを開催しており、市外・県外から多くの観光客が訪れているが、トイレと駐車場の確保が課題となっている。当日は、茶業振興センターや星の広場横の駐車場を借り、そこからもみじ谷まで民間バス 2 台によるピストン輸送を行っているものの、それ以外の日は、現地の駐車場 1 カ所を多くの車が利用することとなっており、通行しにくく回転も悪いために課題を感じている。また、現地のトイレも 1 カ所しかなく、千人単位で観光客が訪れたときに到底賄いきれない状況である。もみじ谷についてはメディアでの報道もあり、本市のプロモーションビデオの撮影もあったことから、今後も多くの観光客が訪れることが予想されるため、観光地としての環境整備に力を入れていく必要性を感じている。

⇒議員 市としても、議会としても、もみじ祭りは重要なイベントであると認識している。市には地元主催の観光イベントが多くあり、これまでも補助金交付等の形でかかわってはいるものの、今後、シティプロモーションにより本市を全国へ売り出す動きがある中、特に重要であると考えられるものについては、環境整備等の面でもサポートを行っていく必要があると考える。いただいたご意見は、今後の議論の参考としたい。

⇒議員 シャトルバスの運行を開始し、以前より経費がかかることから、2 基借りていたレンタルトイレを 1 基にしたとのことである。環境にやさしいまちを謳うのであれば、イベント時のトイレの整備については、それ以外の環境整備とは別で考える必要があると感じる。

⇒議員 本市では、さくらまつりを初めとした地域主催のイベントに補助金を交付しており、実情に合わせて補助率や上限額の見直しも行っている。しかし、補助のみでは必要となる駐車場やトイレの整備に不足すると考えるため、シティプロモーションを掲げる以上、イベントに対する地域と市それぞれの取り組み方について見直す時期に来ていると考える。

○宮妻峡ヒュッテについて、施設自体が古くなっており、あまり利用されていないとの声も聞く。宮妻峡は本市の観光の魅力のひとつであると考えられるため、扇風機等を配備したバンガローのような施設を整備すると有効ではないか。近年、地域ではこれまでもみ

じに加えて、桜の植樹を行うなど、水沢地区全体が1年を通して観光名所となるよう取り組んでおり、宮妻峽へのハイキング客や雲母峰への登山客が多いことも踏まえれば、トイレや駐車場についても、通年で活用できるものを整備していきたいと考えているが、どうか。

⇒議員 宮妻峽ヒュッテは登山者が活用する山小屋としての性格が強いものであり、耐震改修も済んでいるため改築等の予定はない。しかし、年間通した観光地化を目指すのであれば、山小屋のニーズだけでなく、レジャー感覚で利用できる施設のニーズもあると感じるため、お聞きした現状を行政側にも伝えていきたい。

⇒議員 宮妻峽ヒュッテは冬場に悪天候により休館となることもあるが、登山客のトイレの需要があることから、常にトイレの清掃等を行っていると聞いている。もみじ祭りに合わせた餅つきイベントも行っているとのことであるため、これからもそのような繋がりを持ち続け、水沢地区全体での観光につながるような取り組みとなるよう考えていく必要がある。行政のかかわり方も含め、取り組みについての考え方を整理していきたい。

⇒議員 自然の中で非日常を経験することが一つの文化となりつつある中、茶畑の新緑や紅葉など季節ごとにその表情を変える水沢地区は、もう少し手を入れることで、年間通して豊かな自然を満喫でき、多くの人を訪れる観光地となりうるポテンシャルを秘めている。そのためには、行政、議会が地域住民と認識を共有し、方向性を一にすることが必要である。また、山林の管理については市としての方針に乏しいと常を感じているところである。みえ森と緑の県民税も活用できることから、地域の活性化に向けては、市として一定の方針のもと、計画的に森づくり・山づくりに対応していくべきであると考え。

○雲母峰に、資材運搬用のモノレールのようなものが設置してある。乗用のものを整備し、気軽に山頂まで行けるようにすればよい観光地になるのではないかと考える。

⇒議員 ご意見として承る。

④四日市サイクル・スポーツ・フェスティバルに対する地元意見について

○サイクル・スポーツ・フェスティバルの開催には好意的な意見もあれば、1日交通規制があり、生活道路が使いえなくなることから困っているとの意見もある。水沢地区として

の賛否をお答えすることは難しい。

○フェスティバル当日、三本松町では朝早くから夕方まで1日中交通が制限されることから、当初は開催に反対の意見も多くあったが、個人的には市外・県外から多くの人を訪れ、賑わいを見せるイベントの開催には賛成である。以前には、前日練習で夜遅くに無灯で走る自転車も多くあり、転倒事故もしばしば見られたが、コースの見直しやガードマンの配置、注意喚起の徹底等により現在ではそのような危険は少なくなった。三本松町公民館ではボランティアによるぜんざい等の振る舞いもあるなど、イベントはうまく運営できていると感じている。市域を跨いだより広域的なイベントの開催により、将来的なインフラ整備につながればよいとの思いもある。

⇒議員 全国的にも公道を走る自転車レースはほとんどなく、北海道から沖縄まで多くの方が参加していることから、市としては当フェスティバルを全国に誇れる行事であると捉えており、シティプロモーションイベントとして力を入れていきたいと考えているが、地域とうまく折り合いがつかない場面もあると考えるため、今後の取り組み方を考えていきたい。

⇒議員 当フェスティバルは、現在世界で活躍する選手の登竜門ともなっていると感じており、本市の誇りである。地域の方には大変感謝しており、生活道路の利用制限についてはご不便をおかけしていることから、何らかの形で還元していく必要があると考えている。現在の地域の負担をどのように改善していくかも含め、地域から好意的な意見を出してもらえるような開催方法について検討していきたい。また、市当局との打ち合わせにおいては、イベント開催方法への否定的な意見があれば、積極的に伝えてほしい。

○イベントのメインとなる三本松町等に、もう少し警察官を配置してほしいと考えるため、市からも積極的に要望してほしい。

⇒議員 警察本部としては、公道を全面的に封鎖したレースの開催を許可することで、すでに市に対して全面的に協力していると言える。地域が警察官の増員配置を望んでいるということについては、貴重なご意見として賜りたい。

#### ⑤定住促進に関して

○水沢地区では、歴史的経緯から市街地のように家が隣り合っている場所は少ない状況で

あるが、特に北谷町や横堀町は既存集落の要件を満たさないことから、容易に家を建てることできないと確認している。古い空き家を除却してもその跡地に新たに住宅を建てられない事象も発生しており、このように規制が厳しい中では、地区の人口減少を食い止めることは難しいと考える。

⇒議員 現在、市では住生活基本計画の見直しを行っており、その内容に対して1月下旬より市民意見の募集に入る予定であると聞いているため、これを活用し、ぜひご意見を市に届けてほしい。

#### ⑥その他の意見

○お茶の産地である水沢地区でも、近年の異常気象や農業の機械化によりお茶の価格が下がっていることから、廃業する農家も出てきており寂しい思いをしている。三重県では摘採機の普及が進んでいるが、これは通常の農業用倉庫よりも規模の大きい倉庫でなければ保管することができない。しかし、開発規制が厳しく、建設することが難しいため、今後も専業農家として生き残るためにも規制緩和を検討してほしい。

⇒議員 ご意見として承る。なお、おいしいかぶせ茶は本市の誇りであることから、市としてももう少し力を入れ、より積極的にPRしていく必要があるため、今後の取り組み方を考えていきたい。

○中心市街地活性化のため、市の中心部に図書館を移転する計画があると聞いているが、議論はどこまで進んでいるのか。郊外地域の住民にとっては、図書館の移転により逆に不便になる可能性もあり、また、運営委託やカフェの併設を行うことによって、民間の書店や飲食店の経営を圧迫することも懸念している。

⇒議員 現在、近鉄四日市駅周辺、市役所本庁舎東側、JR四日市駅周辺の3カ所で調査研究が行われており、まだ場所が決まっているものではなく、企業秘密もあることから議会側にも情報は伝わっていない。市としては、幅広い年齢層の人々が集える複合的な施設を構想しているとのことだが、喫茶店等を入れるのか、直営・指定管理など運営形態をどのようにするのかも含め、まだ見えていない状況である。

⇒議員 本年1月20日に議員説明会が開催され、中心市街地拠点施設整備について議題となるため、この場で市の考え方が表明されるものと考えている。

○シティ・ミーティングのタイトルだけでなく、中身についてももう少し早めに周知してもらえれば多くの人に集まってもらえるのではないかと。

⇒議員 ご意見として承る。